

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名		鳴門板野古墳群整備活用事業		担当部署	教育委員会 生涯学習人権課	
総合計画体系				根拠法令計画など	文化財保護法	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成 16 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと				終期
(小項目)		文化財				
施策	3	文化財の保護と活用				
基本事業	2	文化財の保護と活用				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門板野古墳群を構成する弥生時代終末期から古墳時代前期の現存する古墳 ①大代古墳、②宝幢寺古墳、③天河別神社古墳群、④萩原2号墓						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門板野古墳群を国指定史跡化することによって史跡の整備を進め、地域の貴重な歴史文化遺産として保存活用する。						
事業計画	27年度に何を計画していたか	①史跡の環境整備事業を行う。 ②指定申請に必要な土地所有者の同意取得が揃った後、申請資料を調べて指定申請書を提出する。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		国指定史跡化	70	90	100	-	-	%

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①地域団体との協働による史跡の環境整備事業を実施した。 ②国指定史跡の申請に向けて、指定申請範囲に関係する土地所有者の同意取得を進めた後、申請資料を調べて指定申請書を提出した。また、これに関する文化庁との協議を行った。					
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 史跡の整備活用			○	○	○	
	2 所有者との協議	○	○				
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	国指定史跡化	60	90	-	-	-	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	-	-	-	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		遅れている			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	99	0	0	99	198
		全体予算額	0	99	0	0	281	380
		決算額	0	99	0	0	217	316
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)		総人件費		総事業費	
		0.5	0.2	3,844		4,160		

【事務事業名：鳴門板野古墳群整備活用事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	198	316	405	-	-
	うち一般財源	99	217	99	-	-
	人件費	3,844	3,844	2,058	-	-
	総事業費	4,042	4,160	2,463	-	-

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		地域団体との協働により、地域資源としての史跡の環境維持を図ることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった		予算化事業については、史跡の環境整備や国指定史跡化の取り組みを進めることができた。
②成果に対する評価	指標名	国指定史跡化		国指定史跡の申請に関する事務については、指定申請範囲に関係する土地所有者からの同意書を取得した後、申請資料を調べて指定申請書を提出することができた。
	目標	90	%	
	実績	90	%	
	評価	B:概ね目標を達成できた		
③総合的な評価		B		史跡の環境整備は継続できており、国指定史跡化に向けての取り組みを進めることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①史跡の整備検討委員会を設置し、有効的な活用方針や整備計画について検討する。 ②史跡の環境整備事業を継続して実施する。 ③史跡を活用した普及啓発事業を行う。 ④史跡の案内標識や現地の説明看板の設置、紹介冊子等の作成を行う。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	①平成28年6月指定答申を受けて、史跡に関する一般向けのシンポジウムを開催予定。 ②学校の夏休み期間に合わせて、史跡を紹介する展示会を行う予定。 ③史跡の保存環境を維持させるための環境整備事業を継続する。 ④史跡の案内や説明に関する標示施設等の整備について検討・調整を進める。			
	平成29年度	①史跡の保存環境を維持させるための環境整備事業を継続する。 ②史跡を活用した現地見学会や市の施設を利用した展示会等を計画する。 ③史跡の案内や説明に関する標示施設等の整備について検討・調整を進める。			